

年 月 日

公益社団法人 計測自動制御学会
論文投稿に際しての確認書
(論文の投稿時に自筆で記入して事務局に送付)

掲載希望誌：

計測自動制御学会論文集

下記投稿論文につき、以下の項目についてすべて点検した結果、このまま掲載されたとしても問題がないことを確認しました。これにも拘らず、記載内容の独自性・妥当性・倫理的観点に関する疑問点、あるいは研究過程における同様の問題点等についての指摘が掲載後に寄せられた場合には、著者の立場で責任を持って対応いたします。

論文題目：

著者氏名および所属機関：

(著者全員直筆署名のこと)

<著作権に関わる事項>

- 執筆内容そのものあるいはその一部と本質的な類似性をもつ記述がある記事は、投稿規定で許されているものを除いては、他の出版物や情報媒体によってこれまでに公開されたことはありません。
- 出版物や情報媒体からの引用による記述は、参考文献の引用や出典の記載などによって、その記述箇所においてすべてそのことを明らかにしています。
- 図・グラフなども含め、他の著作物の著作権を侵害するような記述のしかたはありません。
- やむをえず転載が必要な記述については、該当する他の著作物の著者や出版元から、無償による転載許諾を書面で得ています。もし、転載料など費用が発生する場合には、著者の側で対応します。あるいは、論文の記載内容に他の著作物からの転載はありません。

- 執筆内容は、他の出版物に投稿していません。また、計測自動制御学会以外の発行する刊行物において公開される予定もありません。
- 執筆内容に本質的に関わった人、ないしは執筆そのものに貢献した人はすべて共著者に含まれているか、またはそのような人から上記論文の執筆についての承諾を得ています。あるいは、執筆内容に関してそのようなことを必要としません。
- 執筆内容について、著者の所属機関のしかるべき権限を有する者の同意を得ています。あるいは、この種の同意を得る必要がありません。

<知的財産権・製造物責任および技術者倫理に関わる事項>

- 既存の方法・技術・製品などに関する記述において、学術的根拠なしに批判しておりません。また、それらの記述において、非難・弾劾・告発・誹謗中傷と受け取られる可能性はありません。
- 既存の方法・技術・製品などを評価する記述がありますが、十分な学術的根拠を持って評価しています。あるいは、そのような記述はありません。
- 共同研究の成果に関わる箇所がありますが、このことについて、共同研究者は承諾しています。あるいは、そのような箇所はありません。
- 写真や意匠などに、肖像権、意匠権などを侵害する恐れのあるものはありません。
- 記述内容は、客観的な事実あるいは、定説とされている内容に立脚したもので、そのことを明らかにするため必要な参考文献は、すべて引用してあります。
- 差別的な用語・表現、およびそのように受け取られる可能性のある記述は、ありません。
- 人を対象として含む研究に関する記述がありますが、著者が研究を行った所属機関に設置された倫理審査委員会等の承認を得た上で研究を行っています。もしくは、そのような手続きを必要としない範囲のものですが、ヘルシンキ宣言の精神に則り、対象者からインフォームド・コンセントを得た上で、また、研究成果の客観性を担保するよう対象者の人権に配慮した環境を整えた上で研究を行っています。そして、これらのことは、論文中において明記してあります。あるいは、対象者に対する説明や配慮が求められる可能性は一切ないか、もしくは、人を対象として含む研究に関する記述はそもそもありません。
- 研究段階、論文の執筆段階、ならびに論文の記載内容において、個人情報保護法をはじめとする各種の法令、あるいは、その他の適用されるべき基準ならびに規則等には十分な配慮を払っており、それらには抵触しておらず、また、社会通念に照らして問題が生じるような可能性もありません。

以上(2019年5月版)